

沖縄発

三弦

二

二

味

中国↓沖縄↓日本三弦の競演。
弾いて唄って踊ってオキナワ!

2006

7/8 (土)

開場 18:30 開演 19:00

黒部市国際文化センター

コラーレ (カーターホール)

全席指定 4,000円

高校生以下の方は1,000円でお買い求めいただけます。
チケットはコラーレでのみ発売しています。

■プレイガイド

- (黒部市) コラーレ..... ☎0765-57-1201
- メルシー..... ☎0765-54-2221
- (魚津市) 魚津サンプラザ..... ☎0765-24-3030
- (入善町) コスモホール..... ☎0765-72-1105
- コスモ21..... ☎0765-74-9100
- (朝日町) アスカ..... ☎0765-82-2000
- (滑川市) サン・アビリティーズ..... ☎076-475-3342
- (富山市) インフォマート[市民プラザ] ☎076-491-0110
- [CiC駅前店] ☎076-444-7013
- アルプラザ富山 (ファボーレ内) ☎076-466-1828
- (高岡市) 高岡市生涯学習センター3F ☎0766-20-1800

●お問い合わせ・チケットの申込み●

コラーレ 〒938-0031 黒部市三日市20番地
TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207
info@colare.jp http://www.colare.jp/
開館時間：9:30～22:30 (土曜～23:00) / 毎週水曜休館

- この公演は黒部市の助成により低料金に設定しております。
- 5歳未満のお子様のお入場はご遠慮願います。
- 公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にご連絡ください。

主催/財団法人黒部市国際文化センター
共催/北日本放送 北日本新聞社
後援/黒部市 黒部市教育委員会

三弦の持つエネルギーを体感してみませんか!



費堅蓉 Fei Jianrong
(中国三弦)



新良幸人 Ara Yukito
(三線)



あんみ通 Anmitsu
(津軽三味線)



サンデー Sunday
(鳴物)



志田真木 Shida Maki
(琉球舞踊)

中国の三弦×沖縄の三線×日本の三味線 三弦の歴史とエネルギーを体感！

中国からの冊封使を乗せた船が難破し、琉球のとある島に漂着した。そして船旅の疲れを癒す音楽を奏するための楽器<三弦>を携えた船員が生き残った。島人に助けられた船員はその礼として三弦を教えた。その後工夫改良が重ねられ<三線>が誕生した。大和から新鮮なコンブを積んだ北前船が琉球との交易のためにやってくる。彼らが三線を大和に持ち帰り、大和の風土に合った<三味線>が生まれた……もしかしたら、そんなことがあったのかも知れません。

中国→沖縄→日本。その文化的系譜を代表する、3本弦、スパイクリュートの撥弦楽器（中国の三弦・沖縄の三線・日本の三味線）が一堂に会するという、めったに見ることのできない興味深い企画です。また、今熱い注目を集めている津軽三味線。そのルーツをワールドワイドにたどることで、私たちが日頃見失いがちな日本の文化的アイデンティティーを体感できる企画でもあります。まさに“国際文化センター”コラーレに相応しい企画と満を持しておとどけます。

今回出演の皆さんは、受け継いだ伝統的な技術と表現を単に「再現」するだけにとどまらず、エンターテイメントとしてアートとして、いかにイキイキと「再生」していくか、そんなテーマに真正面から向かい合っている素晴らしい方たちです。自らの底に流れる音楽のパッションをぶつけ合い、すり合わせつつ、きっとエネルギーに満ちた劇場空間を創り出してくれることでしょう。

この企画は、アサヒビール株式会社の企業メセナとして行われているアサヒビール音楽キャラバンの一環として2001年12月に実施されました。沖縄市を皮切りに石垣市、那覇市、東京、愛媛県の内子座、さらに日中国交正常化30周年を記念して派遣された国際交流基金の主催事業「邦楽中国公演」の主要メンバーとして中国6都市を巡演しました。舞台スタッフからチラシ作成に至るまで、沖縄の方々と手を携えて進めてきた、まさに“沖縄発”のプロジェクトなのです。

伝統芸能プロデューサー 小野木 豊昭

■出演者 プロフィール



三弦 費堅蓉 (フェイ ジェンロン)

中国上海に生まれる。三弦・琵琶・中阮・柳琴・月琴のほか、古箏・古琴・演奏にもすぐれ、中国を代表する撥弦楽器演奏家として高く評価されている。上海音楽院在学中に中国第3回音楽作品コンクールで、1等賞に輝いた自作自演の三弦独奏曲「辺寨之夜」は、三弦の演奏方法に革新をもたらしたもので、中国音楽史上に残る作品である。来日後、全国各地でのコンサート活動、海外においてはアジア諸国、オーストラリア、インド、アメリカではカーネギーホールや国連会議場での演奏など世界的に活躍している。作曲家・神津善行氏の「六華仙」のメンバーでもある。作曲・編曲も多数。7種類の楽器を弾きこなすマルチプレイヤーとして活躍中。「仙人の爪弾き」「大陸の旋律」「辺寨之夜」「琴韻清雅」「砂漠の旅」などのCDをリリース。



三線 新良幸人 (あら ゆきと)

石垣市白保に生まれる。幼い頃から三線に親しみ、17歳、最年少で八重山古典音楽コンクール最高賞を受賞。ソロ活動、島太鼓のサンデーとのユニットはもとより、1993年にりんけんバンドのベーシスト・上地正昭に誘われて、「パーシャクラブ」を結成。沖縄民謡とロック、レゲエ、ジャズ、ラテンなどを融合させ、今までの沖縄音楽の域をはるかに越えた独自の世界を展開。また、上地プロデュースによる「アコースティックパーシャ」に参加。八重山、沖縄民謡に新たな境地を開拓し高い評価を得ている。ソウルフルな歌声と“八重山のジミヘン”と称されるエモーショナルな三弦プレイ、“都会的センス”を併せ持ち、島の民謡を鮮やかに「今」の音楽として観客に伝えている。「月夜浜」「月虹」など数々のCDをリリースし、近年ではテレビCM出演などでも話題になる。現代の沖縄を代表するミュージシャンの一人である。



鳴物 サンデー

八重山高校時代から、新良幸人とは音楽活動の上で最も息の合った相棒として活躍。従来の島太鼓とはひと味違う演奏スタイルとステージにおける存在感より、他のミュージシャンからも信頼を集め共演も相次いでいる。上地正昭プロデュース「パーシャクラブ」のメンバーとして、数々のライブ活動、レコーディングに参加。八重山・沖縄民謡の現代的展開に欠くことのない存在である。



琉球舞踊 志田真木 (しだ まき)

沖縄県立芸術大学大学院を修了し、沖縄タイムス芸術選賞「奨励賞」受賞。3歳から母親でもある志田房子氏に師事し、沖縄県指定無形文化財沖縄伝統芸能伝承者となる。現在、国内外で活躍するなか、古典舞踊を基礎に舞踏家とのコラボレーションやオペラなど、他ジャンルと琉球舞踊の融合にも意欲的に取り組んでいる。2005年文化庁芸術祭舞踊部門新人賞受賞。



津軽三味線 あんみ通 (安仲由佳・金田一公美)

津軽三味線や民謡の全国大会等で次々と上位入賞を果たした、ともに東京生まれの安仲由佳と金田一公美が1999年にユニットを結成。ストリートライブを行うなど、明るいキャラクターで型にこだわらない自由な活動を展開。「口ずさめる音楽」をコンセプトに、親しみ易く味わい深いサウンド、そして邦楽や伝統芸能の枠を軽々と超えるフットワークでさまざまなジャンルのアーティストと共演。世代を超えて大きな支持を集めている。国際交流基金主催事業等による海外公演も多く、韓国、中国、ミャンマー、コロンビア、ハワイ、アメリカ、フランス、イギリス、ドイツ、ポルトガルなどワールドワイドに活躍し各地で大絶賛を浴びている。「あんみ通」「あんみ通ソノ式」と2枚のCDをリリース。

中国↓沖縄↓日本三弦の競演。弾いて唄って踊ってオキナワ！
沖縄発 三弦三味